

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第2区分  
 【発行日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【公開番号】特開2005-260064(P2005-260064A)  
 【公開日】平成17年9月22日(2005.9.22)  
 【年通号数】公開・登録公報2005-037  
 【出願番号】特願2004-70927(P2004-70927)  
 【国際特許分類】

**H 0 1 L 43/02 (2006.01)**

**H 0 1 L 43/08 (2006.01)**

【F I】

H 0 1 L 43/02 Z

H 0 1 L 43/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月25日(2006.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

この開口が形成された位置は、各格子点同士を結んで形成される正方形の重心を包囲する位置である。この位置は、各永久磁石の磁極からの磁界が交差して磁界が不安定となる部分である。従って、この位置に開口を設けることにより磁界は交差しなくなり、磁界の不安定さが解消されるから、より安定した強い様な磁界を前記長方形部に局所的に発生させることができる。その結果、かかるマグネットアレイによれば、固定層となる膜の磁化の固定や、磁気センサのバイアス磁石膜の着磁等を効果的に行うことができる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0056

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0056】

図13及び図14に示されたアレイ用基板70は、図15に示した磁性材料(例えば、42アロイ等のパーマロイ)からなる薄板体70aを加工した基板である。アレイ用基板70は平面視でヨーク60と略同一の長形状を備えている。アレイ用基板70は複数の溝70bを備えている。複数の溝70bは、平面視において、ヨーク60の貫通孔61の正方形部61aに対応する同一の箇所(同一位置)に設けられている。溝70bの形状は、貫通孔61の正方形部61aと略同一の正方形形状である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図22

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 2 2 】

